

令和4年度生ごみ減量推進事業 取り組みアンケート結果

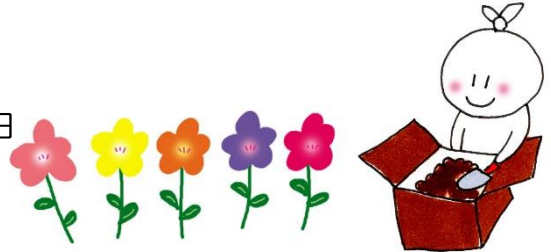
江東区清掃リサイクル課
令和6年3月12日作成

令和4年度に生ごみ減量推進事業に参加いただいた区民126名を対象に現在の取り組み状況についてアンケートを実施しました。楽しく続けている方や苦勞された方など、皆さんの感想やご意見をご紹介しますので、これから取り組まれる方はもちろん、現在継続中の方もぜひ参考にしてください。

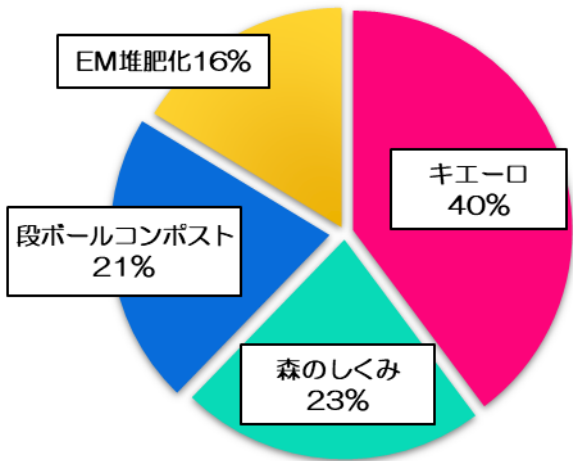
アンケート実施期間：令和6年1月23日～2月26日

対象者：令和4年度取組み者126名

回答数：98名



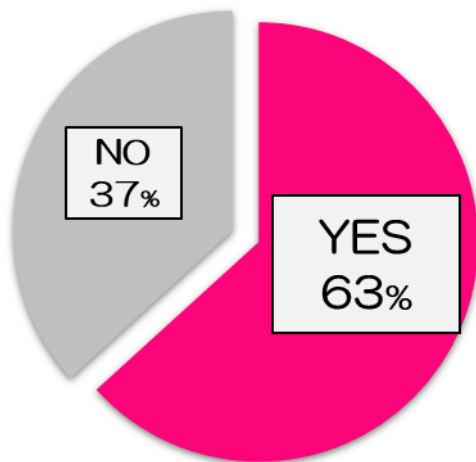
資器材別回答割合



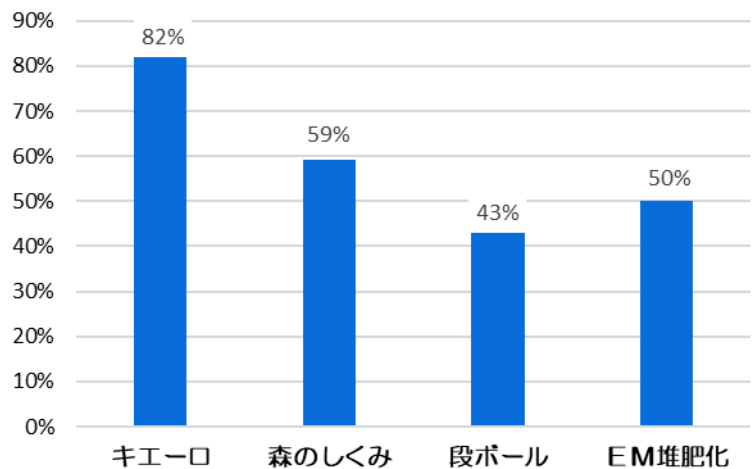
計98名からご回答いただきました。
内訳は以下のとおりです。

	回答者	(取組者)
キエーロ	39名	(51名)
森のしくみ	22名	(27名)
段ボールコンポスト	21名	(29名)
EM堆肥化	16名	(19名)

継続して取り組んでいますか？

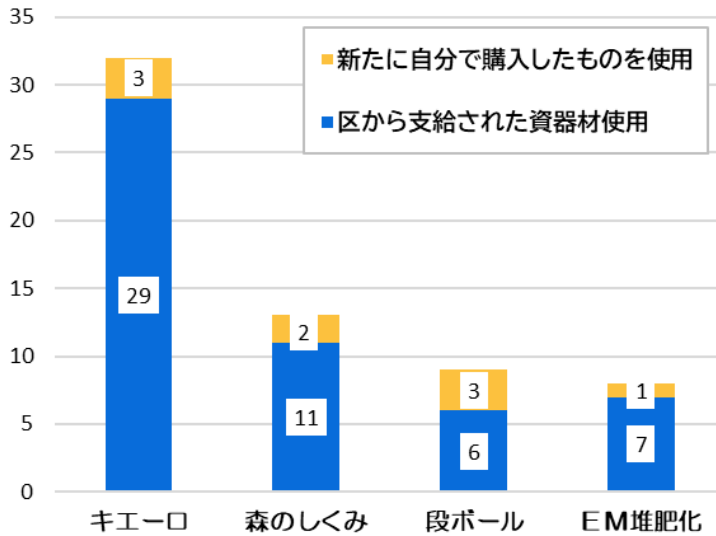


資器材別継続率



令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で講習会が中止となったため、取り組み中に疑問や不安を感じた方も多かったかと思いますが、**6割以上の方が1年以上継続**して取り組んでいただきました！資器材別に見ると、切り返し等の手間が少ないキエーロの継続率が高かったです。段ボールコンポストはご自身で資器材を買い足す必要があるためか、やや低くなった印象です。

資器材の活用状況

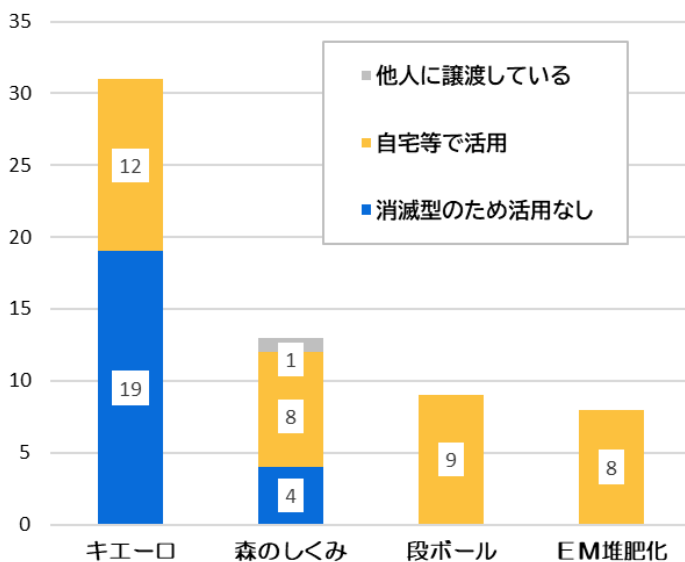


区からはおおむね1年分の資器材を提供しています。

段ボールコンポストに必要な材料は、ホームセンターで揃えることができます。EM堆肥化に使用するぼかし粉もホームセンターや生協で購入できます。

キエーロや森のしくみは基本的に堆肥を繰り返し使用していただけますが、土を少し買い足したというご意見もいただきました。

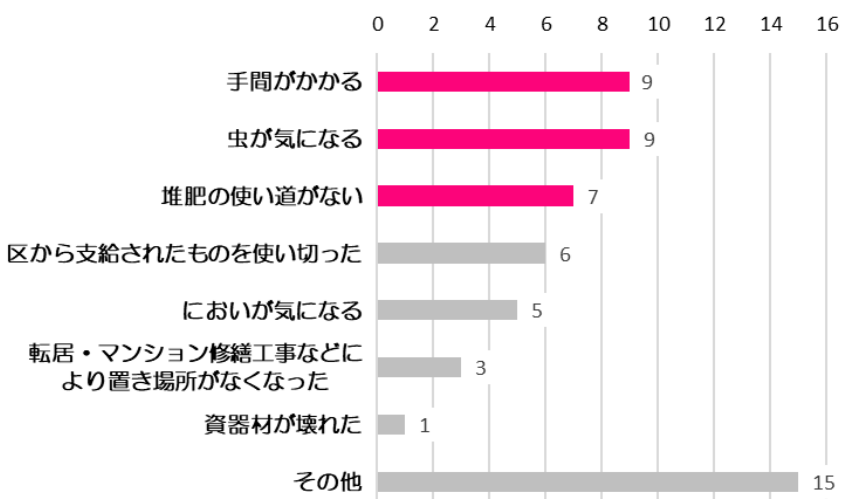
堆肥の活用状況



堆肥型の段ボールコンポスト・EM堆肥化の取組者からは、「花が長く咲いた」「葉物野菜が立派に育った」「トマト・ピーマンがたくさん実った」など嬉しいご意見をいただきました。消滅型のキエーロ・森のしくみの取組者からも「プランターに混ぜるとよく育った」とご意見をいただきました。

今後も楽しく継続していただきたいと思います。

資器材の使用を休止した理由（複数回答可）



残念ながら休止してしまった方からは、「手間がかかる」「虫が発生した」というご意見を多くいただきました。虫の発生を防ぐには、土やカバーをしっかりとカバーすることが大切です。もし虫が発生した場合は、堆肥をビニール袋に移して密封し、日向においておくと数日で死滅します。お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください！

その他のご意見では「体調不良等の私事により（5名）」「分解が進まない・カビが生えた等の失敗（3名）」「冬季は分解が進まないため休止（2名）」などが寄せられました。

令和4年度取り組みアンケート

	設問	回答	キエーロ	森のしくみ	段ボール コンポスト	EM堆肥化	合計
問1	現在も継続して取り組んでいますか	継続中	32	13	9	8	62
		継続していない	7	9	12	8	36
問2	現在の資器材の状況は (問1で「継続中」と回答した方)	区から支給された資器材を使用	29	11	6	7	53
		新たに自分で購入したものを使用	3	2	3	1	9
問3	処理された堆肥の活用方法は (問1で「継続中」と回答した方)	消滅型のため活用なし	19	4	0	0	23
		自宅の庭やプランターや区民農園	12	8	9	8	37
		他人に譲渡している	0	1	0	0	1
問5	使用を休止・やめた理由は (問1で「継続していない」と回答した方・複数回答あり)	においが気になる	0	2	1	2	5
		虫が気になる	0	4	4	1	9
		手間がかかる	2	3	2	2	9
		堆肥の使い道がない	0	3	2	2	7
		資器材が壊れた	0	0	1	0	1
		区から支給されたものを使い切った	0	0	3	3	6
		転居・マンション修繕工事などにより置き場所がなくなった	2	0	1	0	3
		その他	4	3	6	2	15
問6	本事業の満足度 (5点満点)		4.3	4.5	4.2	4.1	4.3

※設問の一部未回答などにより、右枠の合計数が全回答数と一致しない場合があります。

～その他、いただいたご意見の一部をご紹介します～

- ・生ごみが分解される様子を見るのが楽しい。環境保全に貢献している充実感がある。
- ・ごみの削減を日々実感できる。燃えるごみを週2回捨てていたのが1回になり嬉しいです。
- ・生ごみから肥料を作り、その肥料で野菜を作るサイクルを子どもと一緒に楽しんでいます。
- ・予期せず生ごみの種から芽が出てくるので癒される。成長を見守るのが楽しい！
- ・生ごみを分解してくれる微生物をペットとして飼っている気持ちです。野菜くず等をごはんのようにあげて世話するのが楽しい。
- ・とても楽しくごみの減量に取り組んでいます。家庭で出す野菜くずもなるべく減らせるよう端の方まで調理するようになり、意識が変わりました。

生ごみの減量に取り組む中でご不明点等がございましたら、今後もお気軽にお問い合わせください。ご協力ありがとうございました。

